コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明【ＰＣ時短ワザ】フィルター

０．フィルター機能（オートフィルター）

　Excelでフィルター機能を使用することで、大量のデータから表示させたいデータだけを絞ることができます。

コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明１．手順

⓪　元のデータを用意

表の一番上の行が項目とします。

コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明

①　フィルターを追加

フィルターをかけたい範囲を選択

　　　『データ』→『フィルター』

コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明②　フィルターの設定

絞りたいデータの項目をチェック

　③　並び替え機能

優先順位を決めて表を並び替えてくれます。

　　 （例：クラス→地区名　など）

『データ』→『並べ替え』

『レベルの追加』をすることで、優先順位事項が増えます。

コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明

２．テーブル表作成　＆　スライサー機能（Excel2010より）

　テーブル表作成はオートフィルターとほぼ同じ機能をもっています。行を追加したときに自動的に反映してくれたり、テーブルデザインをしてくれたり、など便利な機能が沢山あります。オートフィルターを使用するより、こちらのほうが便利です！

　スライサー機能は、抽出項目のチェックリストボックスが常駐し、直観的にクリックすることができます。

①　テーブル表　作成

『データ』→『テーブルまたは範囲から』

コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明

②　テーブルデザイン変更

おすきなデザインを選択してください。

　　　　　（行ごとにセルの色が交互に変わるようにすると、見やすい資料となると思います。）

スクリーンショット, 抽象 が含まれている画像

自動的に生成された説明③　スライサー機能　追加

（１）表を選択→『テーブルデザイン』→『スライサーの挿入』

（２）抽出したい項目を選択

　　　複数選択したい場合は、スライサー上部のチェックリストを押すと複数選択することができます。

パソコン画面のスクリーンショット

自動的に生成された説明コンピューターのスクリーンショット

自動的に生成された説明